



認定こども園
五所川原こども園
TEL 0173
34-2654

聖句 受けるよりは与える方が幸いである。 使徒言行録20章35節

主題 かさねる

- 月のねがい
- ・クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら、聖書の物語に親しむ
 - ・今まで楽しんできたことに新たな経験を重ね遊びを広げる
 - ・冬の不思議やおもしろさに気づき、友だちと調べたり試したりする

新しい年を迎えました。大きな災害や悲しい出来事が起こらない、争いや戦争が終わり、感染症等が収束し、すべての人々が笑顔で、平和に過ごせる1年になるよう祈ります。園としては年度末に向けて締めくくりの歩みが始まります。次のステップへと階段を上るように、子ども達が心も体も成長していくことが出来るよう職員一同、励んでいきますので、保護者の皆様も、ご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

最初にキリスト教を広めた人のひとりにパウロという方がおられるのですが、その方がイエスさまの言葉として「受けるよりは与える方が幸いである」という言葉を大切に、伝えていたようです。パウロは与えるほうが優れているという意味で言ったわけではありません。パウロ自身が、神さまから沢山の支えを受けている喜びを知っているからこそ、人に与える生き方を実践し、伝えてきたんだと思います。受ける喜びがあつてこそ、与えることの喜びへとつながるということ伝えていたのではないかと思います。

私たちは、誰かに何かをしてもらう、何かをもらうということは嬉しいことです。誰か(大人や親)の支えを受けたり、甘えたいような時期を過ごしている幼い子ども達は、幼ければ幼いほど、小さければ小さいほど、そんな思いや気持ちが強いのではないかと思います。園の中でも、大きい組さんになっていくほど、少しずつ手伝ってもらうことよりも、手伝うことが増えていきます。それは「受ける喜び」を知ったから、ということよりも、ごく自然な成長課程の中で、当たり前のようにになっているのかもしれない。子ども達の成長サイクルの中で助け合いのつながりが形成されているように思います。

与えることの大切さを直接伝えることも大切ですが、まずは受けていること、たくさんの支えによって生かされている喜びを感謝する気持ちを育み、そんな感謝から、今度は与えることへとつながっていくことを大切に伝えていきたいと思っています。神さまからの光をいただいた私たちは、今度はその光を周りの人々へと照り輝かしていくように、与える喜びを育てていきたいと思っています。



- 14日(火)~23日(木)ゆうびんごっこ
18日(土)もちつき参観日
23日(木)アップリートくんと
青の煌めきダンスを楽しみます 10時~
職員会議
24日(金)お誕生会
29日(水)クラス写真撮影
卒園記念写真撮影
8日(水)避難訓練(地震)

雪あそび

雪国ならではの「雪あそび」を思いっきり楽しめる季節になりました。子ども達の大好きな雪あそびを保育の中にどんどん取り入れていきたいと思っています。お天気の良い日は、雪あそびをしますのでジャンプスーツ・長靴・帽子・手袋の準備をお願いします。

※汗をかいたり、雪で濡れたりして着替えをしますので、いつもより多めに下着や靴下、ズボンなどを入れて下さるようお願い致します。



ゆうびんごっこ

郵便ごっこを通して、自分の楽しい経験を絵や文字にして送る喜びやもらう喜びを感じることができるよう、また、文字に対して自然に興味や関心が湧き出るように計画しています。園で用意した、手作りのハガキ、切手の他、日本郵便から頂いた「お手紙ごっこ遊び」のハガキ、切手、ポスト、バック等も利用して楽しんでいきます。※5歳児は、字を書く楽しさを経験して、文字練習を進めていきます。

もちつき参観日

1月18日(土) 9時30分から

杵でお餅をついて、餅が出来るまでの過程を経験します。お汁粉、きな粉餅などを用意しますので誤飲に注意して食べていただきたいと思っています。すまし汁、みかん、お茶は保護者、小学生にも用意します。



うきょうくん
すみれちゃん
ゆきまさくん

